

2023年度 ドコモ市民活動団体助成事業 活動成果報告書

2024/9/18

<p>団体名</p>	<p>一般社団法人 青少年養育支援センター陽気会</p>	<p>活動タイトル</p>	<p>イライラしない子育て講座開催事業</p>	
<p>望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）</p>			<p>■ 活動風景</p>	
<p>●地域の望ましい社会状況(ビジョン)</p>	<p>当団体の実現したいビジョンは、「すべての親子が笑顔で暮らせる社会」である。具体的には、子ども一人ひとりの命が尊重され、健やかに生活することができる社会の実現。また、子どもを支える親が安心して、共に笑顔で暮らすことができる社会である。子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利など、子どもの権利が守られることはもちろんの事、それを守るための一番の支援者である親への子育ての手助けができる社会づくりをめざす。</p>		<p>イライラしない子育て講座 東京都世田谷区での講座の様子</p>	
<p>●団体の社会的役割(ミッション)</p>	<p>当団体では、「すべての親に子育ての喜びを すべての子どもに生かしの道を」ということを、社会的役割（ミッション）として掲げている。具体的には、以下のよう活動を行っている。 1) 当団体が開発した子育て法（ss式イライラしない子育て法（CPA））を使用した子育て講座を全国各地で開催し、ペアレントトレーニングを行い、子育ての孤立を防ぎ、児童虐待を予防する。 2) 虐待親に対するカウンセリングを行い児童虐待の再発防止。 3) CPAを使用した子育て講座を各地で行えるように、指導者養成活動。</p>			
<p>●団体の活動基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人材育成：常勤スタッフが複数在籍し、団体が安定的速やかに活動できるよう人材を育成する。 ●物的資源：講座開催スペースを行政から無料で提供されるような協力体制を作る。 ●活動資金：自主財源（会費・寄付・自主事業）を毎年確保し、当会の子育て支援者が総動員で活動できる財政力を保持する。行政からの委託収益を各地方で獲得する。 ●望ましい情報：当会が取り組む活動実績の数値化。マニュアルを作成し、配布する。その仕組みや情報を発信することで、社会課題に取り組む団体を増やす。 			
<p>■ 活動報告</p>		<p>■ 1年間の目標に対する達成状況(まとめ)</p>		
<p>●イライラしない子育て講座の実施 子育てのスキルを一般親に提供。ロールプレイを通して、身に着け家庭での実践できるようにする。また、子育ての悩みを聞き、継続的な支援へと繋げた。</p> <p>●CPA普及伴走支援 講座開催のためのノウハウ、スキルの提供を行う。怒鳴ったり叩いたりしない子育ての方法、それを伝えるためにどうしたら良いか、各地域での実施方法を共有する。</p> <p>●子育て講座開催のためのコンサル、グループワーク コンサルでは、各自の強み、資源を分析し、具体的な指導を行う。グループワークでは、課題を発表し、意見交換やアドバイスを行う。</p> <p>●活動基盤の強化 活動状況を毎週1回の会議で共有する。年間を通しての活動実績をまとめる。</p>		<p>●イライラしない子育て講座の実施 ①15回開催（時期はずれたが回数は予定通り） ②目標アウトカム：親や子育て支援者の子どもの養育スキルが向上している。参加者の70%以上が平均4段階以上。</p> <p>●CPA普及伴走支援 ①12回開催（予定通り） ②目標アウトカム：講座を開催するトレーナー・講師の数が増える。前年77人→147人へ増加。+70人の大幅増加を達成。</p> <p>●子育て講座開催のためのコンサル・グループワーク ①12回開催（予定通り） ②目標アウトカム：子育て講座の開催に関する自己効力感が向上する。平均4段階以上。</p> <p>●活動基盤の強化 ①事業運営会議31回開催（予定より19回増加） ②目標アウトカム：スタッフの理解度、リーダーシップ度が向上している。4段階以上が7人</p>		
<p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>		<p>■ 望ましい社会状況を達成するための課題</p>		<p>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●子育て講座開催するための地域での行政の子育て支援に対する意識の違い、協力的か否かを把握することができた。 ●子育て講座を開催するためのノウハウ、スキルを収集することができた。全国各地の子育て支援活動を把握することができた。 ●講師に対し、ピンポイントのコンサルを継続的に行うことで、問題点の洗い出しを行い丁寧な支援ができた。講師の能力が向上し、人材を確保することができた。 ●スタッフ会議で、随時活動報告、記録をとることで、何がどのように効果的であったか共有することができた。活動の記録、実績を残すことができた。 		<p>子育ての孤立を防ぎ、児童虐待0になる社会を目指し「イライラしない子育て講座」の開催、開催のための伴走支援を行ったが、以下の課題が明らかになった。</p> <p>講座に参加する上で、託児所の完備、保育士の確保も必要であった。託児がないなら参加できないという親御さんもいたが、託児所と保育士確保の人員費が必要となれば費用がさらに多くかかってしまう。行政と協力ができないか打診したが、託児所の提供や保育士をつけることは難しいとのこと。資金調達と人材確保が今後の課題。</p>		<p>この1年間の活動を通じて</p> <p>全国で147件の「イライラしない子育て講座」を開催、参加者1765名</p> <p>を達成しました。</p>
<p>■ 受益者の具体的な変化（自由記入）</p>		<p>子育て支援の動きが全国で高まった。子育て支援者が地元の行政へ働き×など積極的な動きができた。今まで、子育て支援が届いていなかった地域でも子育て支援ができた。</p>		